

六ヶ所再処理工場

令和2年度 品質保証の実施計画書の変更について

六ヶ所再処理工場 令和2年度 品質保証の実施計画

I. 品質マネジメントシステムに係る※1実施計画

1. 保安活動の実施

(1) 品質方針の設定、周知

社長は、品質方針を設定、周知し、社員の理解を深め、法令・安全協定の遵守及び原子力安全の重要性に対する認識を徹底させる。

(2) 品質目標の設定、周知

社長は、監査室長、調達室長※2、安全・品質本部長、再処理事業部長及び技術本部長に、所管する業務について品質方針に基づく品質目標を設定させ、当該業務を行う社員に周知させる。

(3) 社長による評価

社長は、品質方針、品質目標を含む品質マネジメントシステムが適切、妥当かつ有効であることが継続していることの評価を行う。(年1回以上)

(4) 文書及び記録の管理

監査室長、調達室長※2、安全・品質本部長、再処理事業部長及び技術本部長は、「再処理施設保安規定」、「原子力安全に係る品質マネジメントシステム規程」及び関連文書(以下、「文書類」という。)に従い、所管する業務に関して作成した文書及び記録を管理する。

(5) 保安活動の実施

再処理事業部長及び技術本部長は、文書類に従い、再処理施設の操作、核燃料物質の管理、施設管理、放射性廃棄物管理、放射線管理及び非常時の措置に係る業務を実施する。

(6) 調達

調達室長※2、再処理事業部長及び技術本部長は、文書類に従い、物品及び役務の調達を行う。

(7) 内部監査

監査室長は、文書類に従い、再処理施設の保安に係る業務等について、監査を行う。(年1回以上)

(8) 不適合管理

監査室長、調達室長^{※2}、安全・品質本部長、再処理事業部長及び技術本部長は、不適合が検出された場合は、文書類に従い、その不適合を確実に識別し、適切な処置を行い、その結果を記録する。

(9) 是正処置及び未然防止処置

監査室長、調達室長^{※2}、安全・品質本部長、再処理事業部長及び技術本部長は、文書類に従い、不適合の再発防止及び発生予防のための処置を行い、これを記録し、実施した活動を評価する。

(10) 教育・訓練

再処理事業部長及び技術本部長は、文書類に従い、再処理施設の保安活動に従事する者に必要な力量が持てるように教育・訓練を実施する。

2. 品質マネジメントシステムに係る^{※1}活動の改善に向けた取組み

(1) 安全・品質改革委員会の活動

社長を委員長とした安全・品質改革委員会により、当社全体の品質マネジメントシステムに係る^{※1}活動の実施状況を観察・評価し、必要な指示・命令を行う。

(2) 安全・品質本部による事業部の品質マネジメントシステムに係る^{※1}活動の支援

安全・品質本部長は、社長の補佐として、各事業部の品質マネジメントシステムに係る^{※1}活動が適切に実施されることを支援するとともに、品質マネジメントシステムの有効性を継続的に改善する。

(3) 新検査制度への対応

新検査制度を踏まえた品質マネジメントシステムを活用し、安全性向上に向けた活動を推進する。

3. 協力会社との連携

(1) 品質保証マネジメント会議

社長は、当社と協力会社の経営層からなる「品質保証マネジメント会議」を開催し、当社と協力会社が一体となった品質マネジメントシステムに係る^{※1}活動を推進する。
(年1回以上)

(2) 再処理事業部と協力会社との連携

再処理事業部長は、日本原燃安全推進協議会（再処理事業所）及び安全パトロールを開催し、協力会社との双方向のコミュニケーションを推進する。

4. 安全・品質改革検証委員会

社長は、社外有識者等からなる「安全・品質改革検証委員会」を開催し、当社の品質マネジメントシステムに係る^{※1}活動の実施状況について、評価・助言を受ける。

5. その他

- (1) 品質保証大会の開催
- (2) 品質月間行事の実施

II. 常設の第三者外部監査機関の監査

安全・品質本部長、再処理事業部長及び技術本部長は、文書類に従い、第三者外部監査機関による定期的な監査を受ける。(年2回)

監査室長は、文書類に従い、第三者外部監査機関による定期的な監査を受ける。(年1回)

以 上

- ※1 再処理施設保安規定改正に伴い、「品質保証」を「品質マネジメントシステム」に変更している。
- ※2 再処理施設保安規定改正に伴い、保安活動を実施する組織として調達室が設置されたため、調達室長を追加している。

令和2年度品質保証の実施計画書 変更前後比較表

変更前 (2020年3月30日報告)	変更後
<p style="text-align: center;">六ヶ所再処理工場 令和2年度 品質保証の実施計画</p> <p>I. 品質保証の実施計画</p> <p>1. 保安活動等の実施</p> <p>(1) 品質方針の設定、周知</p> <p style="text-align: center;">⋮ (略)</p> <p>(2) 品質目標の設定、周知 社長は、監査室長、安全・品質本部長、再処理事業部長及び技術本部長に、所管する業務について品質方針に基づく品質目標を設定させ、当該業務を行う社員に周知させる。</p> <p style="text-align: center;">⋮ (略)</p> <p>(4) 文書及び記録の管理 監査室長、安全・品質本部長、再処理事業部長及び技術本部長は、「再処理施設保安規定」、「原子力安全に係る品質マネジメントシステム規程」及び関連文書（以下、「文書類」という。）に従い、所管する業務に関して作成した文書及び記録を管理する。</p> <p style="text-align: center;">⋮ (略)</p> <p>(6) 調達 再処理事業部長及び技術本部長は、文書類に従い、物品及び役務の調達を行う。</p> <p style="text-align: center;">⋮ (略)</p> <p>(8) 不適合管理 監査室長、安全・品質本部長、再処理事業部長及び技術本部長は、不適合が検出された場合は、文書類に従い、その不適合を確実に識別し、適切な処置を行い、その結果を記録する。</p> <p>(9) 是正処置及び未然防止処置 監査室長、安全・品質本部長、再処理事業部長及び技術本部長は、文書類に従い、不適合の再発防止及び発生予防のための処置を行い、これを記録し、実施した活動を評価する。</p> <p style="text-align: center;">⋮ (略)</p> <p>2. 品質保証活動の改善に向けた取組み</p> <p>(1) 安全・品質改革委員会の活動 社長を委員長とした安全・品質改革委員会により、当社全体の品質保証活動の実施状況を観察・評価し、必要な指示・命令を行う。</p> <p>(2) 安全・品質本部による事業部の品質保証活動の支援 安全・品質本部長は、社長の補佐として、各事業部の品質保証活動が適切に実施されることを支援するとともに、品質マネジメントシステムの有効性を継続的に改善する。</p>	<p style="text-align: center;">六ヶ所再処理工場 令和2年度 品質保証の実施計画</p> <p>I. 品質マネジメントシステムに係る^{*1}実施計画</p> <p>1. 保安活動等の実施</p> <p>(1) 品質方針の設定、周知</p> <p style="text-align: center;">⋮ (略)</p> <p>(2) 品質目標の設定、周知 社長は、監査室長、調達室長^{*2}、安全・品質本部長、再処理事業部長及び技術本部長に、所管する業務について品質方針に基づく品質目標を設定させ、当該業務を行う社員に周知させる。</p> <p style="text-align: center;">⋮ (略)</p> <p>(4) 文書及び記録の管理 監査室長、調達室長^{*2}、安全・品質本部長、再処理事業部長及び技術本部長は、「再処理施設保安規定」、「原子力安全に係る品質マネジメントシステム規程」及び関連文書（以下、「文書類」という。）に従い、所管する業務に関して作成した文書及び記録を管理する。</p> <p style="text-align: center;">⋮ (略)</p> <p>(6) 調達 調達室長^{*2}、再処理事業部長及び技術本部長は、文書類に従い、物品及び役務の調達を行う。</p> <p style="text-align: center;">⋮ (略)</p> <p>(8) 不適合管理 監査室長、調達室長^{*2}、安全・品質本部長、再処理事業部長及び技術本部長は、不適合が検出された場合は、文書類に従い、その不適合を確実に識別し、適切な処置を行い、その結果を記録する。</p> <p>(9) 是正処置及び未然防止処置 監査室長、調達室長^{*2}、安全・品質本部長、再処理事業部長及び技術本部長は、文書類に従い、不適合の再発防止及び発生予防のための処置を行い、これを記録し、実施した活動を評価する。</p> <p style="text-align: center;">⋮ (略)</p> <p>2. 品質マネジメントシステムに係る^{*1}活動の改善に向けた取組み</p> <p>(1) 安全・品質改革委員会の活動 社長を委員長とした安全・品質改革委員会により、当社全体の品質マネジメントシステムに係る^{*1}活動の実施状況を観察・評価し、必要な指示・命令を行う。</p> <p>(2) 安全・品質本部による事業部の品質マネジメントシステムに係る^{*1}活動の支援 安全・品質本部長は、社長の補佐として、各事業部の品質マネジメントシステムに係る^{*1}活動が適切に実施されることを支援するとともに、品質マネジメントシステムの有効性を継続的に改善する。</p>

3. 協力会社との連携

(1) 品質保証マネジメント会議

社長は、当社と協力会社の経営層からなる「品質保証マネジメント会議」を開催し、当社と協力会社が一体となった品質保証活動を推進する。(年1回以上)

⋮
(略)

4. 安全・品質改革検証委員会

社長は、社外有識者等からなる「安全・品質改革検証委員会」を開催し、当社の品質保証活動の実施状況について、評価・助言を受ける。

以上

3. 協力会社との連携

(1) 品質保証マネジメント会議

社長は、当社と協力会社の経営層からなる「品質保証マネジメント会議」を開催し、当社と協力会社が一体となった品質マネジメントシステムに係る※1活動を推進する。(年1回以上)

⋮
(略)

4. 安全・品質改革検証委員会

社長は、社外有識者等からなる「安全・品質改革検証委員会」を開催し、当社の品質マネジメントシステムに係る※1活動の実施状況について、評価・助言を受ける。

以上

- ※1 再処理施設保安規定改正に伴い、「品質保証」を「品質マネジメントシステム」に変更している。
- ※2 再処理施設保安規定改正に伴い、保安活動を実施する組織として調達室が設置されたため、調達室長を追加している。